

1. 件名：大間原子力発電所の新規制基準適合性審査に関する面談について

2. 日時：令和2年5月28日(木) 10時00分～10時30分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者

原子力規制庁 原子力規制部 地震・津波審査部門

内藤安全規制調整官、田上上席安全審査官、佐口主任安全審査官、谷主任安全審査官、菅谷技術研究調査官、南雲係員

電源開発株式会社 原子力事業本部 原子力技術部 部長 他7名

(テレビ会議システムによる出席)

5. 要旨

(1) 電源開発株式会社(以下「電源開発」という。)から、本年5月21日に開催された第862回原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合における、原子力規制委員会からの指摘事項について、本日の提出資料に基づいて、それらの趣旨の確認があった。

(2) 各指摘事項の内容に係る認識を相互で確認した後、原子力規制庁から、会合でも指摘したとおり、西側海域の個々の断層の同定については、活動性を評価するために必要な情報を考慮した上で整理することを求めたものであることを伝え、dF断層系であるとする説明をエビデンスとともに十分に整理することを電源開発に求めた。それに対し、電源開発から了解した旨の回答があった。

(3) 電源開発から敷地内の地質・地質構造に関し、今後の審査の進め方としては、dF断層系のコメント回答を優先して行った後「後期更新世に生じた変状」に係るコメント回答について説明する意向であることの説明があった。これに対し、原子力規制庁からは資料が整い次第dF断層系の説明を行うことを求め、電源開発から了解した旨の回答があった。

6. 提出資料

・大間原子力発電所 審査会合における指摘事項について(地震・津波関係)(案)【抜粋】